

平成26年度終了研究テーマ

終了研究テーマ名		研究成果等	担当科名	事業名
1	木質構造接合部の性能向上に関する研究 (H25～H26)	接着ビス接合の評価方法を提案するとともに、長期耐久性の評価を行うことでクリープ変形や水分による性能低下は少ないことを明らかにした。 また、接合部試験を効率的に精度よく計測するための試験システム、および温湿度、変位等を遠隔から長期計測するシステムを構築し、共同研究に供するとともに、汎用的に技術移転可能となるようシステムの改良を行った。	材料技術科	県単基礎研究
2	竹平板化加工の量産化に関する研究 (H26)	平板化において竹を加熱にかかる時間を高周波印加により加熱することによって短縮することに成功した。竹の割れることなしに平板化しやすい傾向の季節変動を把握した。	材料技術科	県単基礎研究
3	試料中の元素・組成分析法の検討 (H25～H26)	岩石試料についてマイクロウェーブ分解法の条件、および分解時に用いる酸の構成について種々検討を行った。その結果、ターゲットとする元素により分解条件を変えていく必要があることが判明した。 未知試料の成分分析を行う際は、既知の標準試料などを同一条件で同時に分解を実施し、その値が認証値などと一致することを確認するなどして、分解法の妥当性を検討する必要がある。	環境技術科	県単基礎研究
4	島根県産米粉の水産食品への応用に関する研究 (H25～H26)	様々な種類の米粉について、RVA試験(糊化特性)他について特性調査を行った。その結果に基づき、かまぼこを試作したところ、米粉の種類によってゲル強度を強くする性質は様々であることを確認した。すなわち、かまぼこ製造に幅広く応用できると考えられた。	生物応用科	県単基礎研究
5	Rubyを用いた画像処理ライブラリ利用環境の構築(Rubyに最適化されたプロセッサ、制御ライブラリの開発) (H25～H26)	ここでの調査成果をもとに、他の共同研究へのOpenCVの利用が可能となり、現在、翼車認識プログラム開発を実施中で、メカトロ研究会での研究開発に使用する可能性は高い。	電子・電気技術科	県単基礎研究
6	生活関連産業(日用品)支援に関する基礎的研究 (H24～H26)	県内でものづくりを行う企業の連携により、新たな商品開発を試みた。本研究では家具等をはじめとするインテリア、テーブルウェア等について商品提案を行い、試作、展示販売を行った。	情報・ヒューマンア メニティ科	県単基礎研究
7	石州瓦の耐凍害性向上に関する研究 (H25～H26)	石州瓦の更なる耐凍害性能向上を目的として、原料の粒度組成と細孔分布、耐凍害性の関係を評価した。その結果、75 μ m以上の粒子である砂分の増加が、瓦の焼き締めを阻害し、耐凍害性を低下させることが分かった。さらに種々の添加材を検討し、耐凍害性向上に有効な素材を見出した。	無機材料・資源科	県単基礎研究

終了研究テーマ名		研究成果等	担当科名	事業名
8	未利用アルファ化米の有効利用(H25～H26)	未利用アルファ化米を、パン用梅花酵母の培養基質に用いることが可能であることが確認された。このことから国産原料によるパン酵母生産が可能となり、パンの消費者が求めている「安心」に貢献できると考えられる。	食品技術科	県単基礎研究